平成２８年度　幡羅小学校 学校だより　１０月号　　平成28年 9月30日 発行

「はたら」

元気のある幡羅小
あいさつと笑顔があふれる幡羅小

校訓　「誠実」「規律」「共同」

♪ 読書の秋 ♪　～ 秋の夜長に本に親しむ ～

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のとおり夏の暑さも一気に去り、衣替えの季節「何をするにもほどよい季節の秋」を迎えました。「食欲の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」といろいろな言われ方をされます。「読書の秋」もその一つで、これからの季節は夕方から夜にかけて、本を読むのに最適と言えます。「食べ物は体の糧、読書は心の糧」という名言があります。体を丈夫に育てるには食べ物が、人間らしい温かい心を育てるには本が大切だという教えです。子どもたちは読書を通して、笑ったり泣いたり怒ったり、納得したり共感したりしながら、その子らしい見方や考え方を広げ深めたり、生き方を学んだりしていくのではないでしょうか。

テレビやインターネットなどから情報を受け取るだけでは、自分でものごとを考えなくなる恐れがあります。本を「読む」ということは、いろいろな世界を知り、「考える」ことにつながります。自分でものを考える必要があるからこそ「読書」が必要なのです。人工知能（AI）が人間に代わって様々な判断をする近未来の社会にあっても、読書の重要性は増すことはあっても、減ることはないでしょう。自分から本に手を伸ばす子どもに育てることが必要です。

とりわけ小学生時代の読書はとても大切で、国語の力を向上させるとともに、その後の生き方に影響を与えると言っても過言ではありません。そのため、本校では、朝読書やボランティアによる読み聞かせなど、読書の習慣化に取り組んでいます。また、子どもたちがたくさん本を手に取ることができるよう、図書室の掲示・展示の工夫、読書指導にも努めるなど読書活動を学校教育の大きな柱として位置づけています。

しかし、学校生活の中で読書の時間を十分とることはそうはできません。休み時間に校庭で友だちと体を思いっきり動かすことも大切なことです。そこで、お勧めしたいのが家庭での読書です。学校での朝読に対して、「家読（うちどく）」と言われているそうですが、要は家族で読書の習慣を共有することです。家族みんなで好きな本を読み、あるいは同じ本を読み、感想を話し合うなど、ぜひご家庭でも本に親しむ機会をつくってはいかがでしょうか。

【渋沢栄一と読書のかかわり】

渋沢栄一は、幼小の頃から、中国や日本の書物を父や従兄弟（いとこ）の尾高惇忠（おだかじゅんちゅう）から学びました。栄一は読書に相当の興味をもっていて、十二歳の正月、年始回りのときに、読書に夢中になりすぎて道端の溝の中に落ちて晴着を汚してしまった、というエピソードもあります。知識や情報を得るためには書物しかなかった時代に、とにもかくにも「学びたい！」の一心で読書をしていたのでしょう。中でも、『論語』を座右の書としていたことは有名です。

栄一の言葉に、「少年時代の頭脳に記憶したる事は老後に至っても消失せず、明確に存在しておるものである。ゆえに習慣は少年時代がもっとも大切である」というものがあります。心の支えとなったり、その後の人生に影響を与えたりする読書（習慣）を大切にしてほしい、との思いが伝わってきます。

日	曜	１０月　主な行事　　授業日数 ２０日
1	土	校舎内ワックス清掃（～２日）
2	日	★幡羅地区市民体育祭
3	月	全校朝会・親善運動会壮行会　一斉下校
4	火	６年親善運動会　１年生活科見学
5	水	
6	木	
7	金	運動会前日準備 14 時～
8	土	運動会・弁当の日　児童登校７：４５ 下校 14:40　6 年は 15:20　※雨天延期の場合は休み
9	日	運動会予備日
10	月	体育の日
11	火	
12	水	緊急連絡サイトアクセス日　１２日～１８日
13	木	
14	金	運動会振替休業日
15	土	★幡羅中学校７０周年記念式典
16	日	
17	月	就学時健康診断 特別日課４
18	火	音読朝会　クラブ
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	音楽会壮行会　色別集会　クラブ
26	水	
27	木	埼玉県小中学校食育委嘱研究協議会
28	金	♪日暮れが早くなり、また、季節の変わり目で寒暖の差が大きくなる時期です。子どもたちの健康・安全には、ご家庭でも十分ご配慮くださいますようお願いいたします。
29	土	
30	日	
31	月	

★はたらっ子の活躍★

【大里地区科学展】

○金賞　　５年　笠井　彩里　『天気予報にちょう戦しよう！』

【大里地区発明創意くふう展】

○金賞　５年　田嶋　幸稀　『ピタッとケース』
　　５年　髙山　萌生　『リバーシブルゆかた用バッグ』
　　５年　難波　柚紀　『フード干しハンガー』
　　５年　水村　理乃　『よくかわくハンガー』
　　６年　倉持　海都　『エコなべぼうし』

【深谷市人権作文集　※幡羅小：4年生が応募】

○入選　４年　太田　詩乃　『友だちとけんかしてわかったこと』
　　４年　中嶋　慧　『いろんなやさしさ』
　　４年　武藤　愛佳　『やさしさっていいなあ』※ 10/16 ふかや・ふれあい人権セミナーにて発表

【大里地区文集「けやき」掲載】　※１０月末以降に配布

○特選　１年　深澤菜々美　『キャンプにいったよ』
　　２年　金澤　陽愛　『パンやのひみつ』
　　３年　金子　実則　『二十日大根育てたよ』
　　４年　五十川詩桜　『深谷市浄化センターを見学して』
　　５年　平野　真汰　『林間学校での成長』
　　６年　鮎川　巧　『班別自由行動』

【幡羅地区敬老会参加】　幡羅小ハ木節クラブ４０名

【連絡】

○１年１組の担任腰塚久美子教諭が病気療養のため、当分の間、茂木清秀教諭が担任を代行します。

幡羅小ニュース ～2学期が順調にスタートしました～

夏休み作品展、たくさんの方に見ていただきました ～園児も見学♪～

★９月１日、２日の作品展には２００名を超える参観者があり、貯金箱や習字、一研究などの作品をご覧いただきました。幡羅幼稚園の園児も熱心に見て回りました。

「郷土を描く」写生会♪～気持ちをこめて･･･～

★わたしたちの学校や地域、「郷土」をテーマとして、各学年の写生会が行われました。１年生と２年生は身近な生き物を、３年生から５年生は学校の木や植物、建物を、それぞれ題材としました。そして、６年生は由緒ある「国済寺」へ足を運び、本堂や山門などを丁寧に描いていました。

昼休みの避難訓練　～いつ、どこで起こるかわからない災害に備えて！～

★９月１日、昼休みの時間帯に大規模地震が発生したとの想定で、避難訓練を実施しました。周りに先生がいなくても、「自分の身は自分で守る」「自ら判断し行動する」という意識をもち、低学年の児童も落ち着いてすばやく避難することができました。

5年生道徳授業：～「まごころ先生」とともに、渋沢栄一翁の心にふれる♫～

★９月１５日、５年生は、蜂須栄先生（元深谷市教育委員会教育長）を招いて道徳の授業を行いました。蜂須先生から、渋沢栄一翁が学んだ論語の精神である忠恕の心（まごころと思いやり）についてお話をいただきました。相手や周囲に目を向けることの大切さについて考える有意義な１時間となりました。

4年生･5年生の社会科見学　～百聞は一見に如かず！～

★４年生は川越市（蔵造り）と小川町（和紙づくり）を、５年生は狭山市（自動車工場、リサイクル工場、お菓子工場）をそれぞれ訪問しました。教室では知ることのできないことを実際に目の当たりにして、楽しく見学（体験）することができました。

運動会に向かって、日に日に力が入ります♪　～心を一つにして～

★いよいよ運動会が８日後に迫り、学校全体が盛り上がってきました。全体練習をはじめ、各学年とも演技・種目の仕上がりに向け順調に練習を重ねています。過日、児童会長の志村香凜さんは「スローガンにあるように、熱い戦いとチームワークある演技を皆さんにお見せしたい」と、意気込みを語ってくれました。今年の運動会も、子どもたち一人一人の力が存分に発揮され、幡羅っ子の絆がさらに深まることを楽しみにしています。各ご家庭におかれましては、お子様の健康管理にご留意いただくとともに、運動会練習への励ましの一言をお願いします。

全校スローガン　『輝け幡羅　３つの星の　大決戦』
赤　　組　「ゆう勝を　かたい絆で　つかみとれ」
黄　　組　「絆を深め　ゆう勝目指し　かがやけ黄組」
青　　組　「仲間を信じ　勝利をつかめ　青組魂」

「生活アンケート」を振り返って……

９月上旬、子どもたち相互の人間関係や学校生活における不安や心配事などを把握し、一人一人に応じた支援を行うために、全校児童対象に「生活アンケート」を実施しました。

①	学校に行きたくないと思うことはありますか。	はい：　9.5%　　いいえ：90.5 %
②	仲間に入れてもらえないことはありますか。	はい：　5.2 %　　いいえ：94.8 %
③	かくされる、こわされるといったことはありますか。	はい：　4.0 %　　いいえ：96.0 %
④	友だちから悪口を言われることはありますか。	はい：12.9 %　　いいえ：87.1 %
⑤	たたかれる、けられることはありますか。	はい：　7.6 %　　いいえ：92.4 %
⑥	係・仕事をおしつけられることはありますか。	はい：　1.4 %　　いいえ：98.6 %
⑦	いやなことを言ったり、したりすることはありますか。	はい：　9.9 %　　いいえ：90.1 %
⑧	相談できる人はいますか。	はい：94.2 %　　いいえ：　5.8 %
⑨	友だちでつらい気持ちで生活している人はいますか。	はい：　9.7 %　　いいえ：90.3 %
⑩	心配や困っていることはありますか。	はい：　7.8 %　　いいえ：92.2 %

今回のアンケートには、「いじめを受けたことがありますか。」「いじめをしたことがありますか。」という直接的な質問ではありませんでしたが、②から⑥までの回答を見るなかで、「いじめ」へ発展する「芽」はあるのだなあ、と改めて感じました。ふとしたことから仲間に入れなかったり、悪口を言ったり、ふざけ半分でたたいたりすることは「いじめの芽」となる行為であり、受け止める子によっては明らかに「いじめ」となります。

本校では、もちろん「いじめゼロ」の学校を目指しているわけですが、「いじめは、いつ、どこでも起こり得るもの」との認識に立ち、子どもたちに向き合い「いじめの芽」となるまでの段階で、適切な対応（解決）ができるよう努めてまいります。きまりや規則、威圧で「いじめ」を阻止するのでは抜本的な解決とはならず、かえって目に見えない場所での「深刻ないじめ」となることもあります。「いじめの芽」が見つかったら、「これはよいことなのかどうか」「どうすればよいのか」などと、じっくりと考えさせ、心の底から「いじめをしない、させない、見て見ぬふりをしない」子どもを育てていくことが大切です。「いじめの芽」を敏感に察知し、早い段階で解決できる幡羅小学校にしていきたいと思います。少しでも気になることがありましたら、学校までご連絡ください。　【生徒指導・教育相談担当：教頭、茂木、根岸、石川、学級担任】